

2019 年 3 月 期
決 算 説 明 資 料

金沢信用金庫

【 目 次 】

2019年3月期 決算の概況	1
2019年3月期決算の概況	2
1.総括	2
(1)損益の概要	
(2)自己資本比率(国内基準)	
(3)金融再生法開示債権	
2.損益状況	3
3.預金・貸出金等	4
(1)預金・貸出金（未残）	
(2)預り資産（未残）	
4.有価証券の評価損益	4
5.開示不良債権	5
(1)金融再生法開示債権	
(2)金融再生法開示債権の保全状況	
6.自己資本比率(国内基準)	5
7.2020年3月期業績予想	6
2019年3月期 連結決算の概況	7

2019年3月期 決算の概況

2019年6月3日

信用金庫名 金沢信用金庫（理事長 忠田 秀敏）
 本店所在地 金沢市南町1番1号
 問合わせ先 責任者役職名 総合企画部長
 氏 名 津田 一志 TEL(076)231-0147

通常総代会開催日 2019年6月17日

1. 2019年3月期の業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 経営成績

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円 (%)	百万円 (%)	百万円 (%)
2019年3月期	7,402 (△10.2)	970 (△49.9)	941 (△50.2)
2018年3月期	8,248 (△7.2)	1,939 (△9.6)	1,891 (△11.3)

	貸出金残高	預金残高
	百万円 (%)	百万円 (%)
2019年3月期	228,335 (△0.1)	491,820 (△1.3)
2018年3月期	228,683 (1.7)	498,439 (0.8)

(注) 経常収益、経常利益、当期純利益、貸出金残高、預金残高におけるパーセント表示は、対前期増減率

(2) 財政状態

	総資産	純資産
	百万円 (%)	百万円 (%)
2019年3月期	522,604 (△1.2)	25,687 (0.0)
2018年3月期	529,330 (0.9)	25,675 (5.5)

(注) 総資産、純資産におけるパーセント表示は、対前期増減率

(3) 諸比率

	不良債権比率	自己資本比率
	%	%
2019年3月期	12.90	9.52
2018年3月期	13.67	10.21

(注) 1. 不良債権比率（金融再生法）は、総与信に占める開示不良債権の割合であります。

2. 自己資本比率（国内基準）は、信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するために金融庁長官が定める基準に基づき算出しております。

2. 2020年3月期の業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円 (%)	百万円 (%)	百万円 (%)
2020年3月期	7,000 (△5.4)	960 (△1.0)	900 (△4.3)

(注) 経常収益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

2019年3月期決算の概況

1.総括

○ 損益は次の通りとなり、3期連続の減収、減益となりました。

経常収益	7,402 百万円	(前期比	△845百万円)
コア業務純益	1,060 百万円	(前期比	△2百万円)
経常費用	6,432 百万円	(前期比	124百万円)
経常利益	970 百万円	(前期比	△969百万円)
当期純利益	941 百万円	(前期比	△950百万円)

○ 自己資本比率(国内基準)は、前期末比0.69ポイント低下して9.52%となりました。

○ 金融再生法開示債権は、前期末比1,879百万円減少して29,740百万円となりました。

(1) 損益の概要

(単位:百万円)

	2019年3月期			2018年3月期
		2018年3月期比	増減率	
経常収益	7,402	△ 845	△10.2%	8,248
コア業務純益	1,060	△ 2	△0.2%	1,062
経常費用	6,432	124	1.9%	6,308
経常利益	970	△ 969	△49.9%	1,939
当期純利益	941	△ 950	△50.2%	1,891

(2) 自己資本比率(国内基準)

(単位:%)

	2019年3月末		2018年3月末
		2018年3月末比	
自己資本比率	9.52	△ 0.69	10.21

(3) 金融再生法開示債権

(単位:百万円)

	2019年3月末		2018年3月末
		2018年3月末比	
金融再生法開示債権 (不良債権比率)	29,740 (12.90%)	△ 1,879 (△0.77%)	31,619 (13.67%)

2.損益状況

- 業務粗利益は、市場運用利息が増加したものの、役務取引等利益が減少したこと等により、前期比41百万円減少して6,070百万円となりました。
- 経費は、物件費が増加したものの、人件費が減少したこと等により、前期比27百万円減少して5,131百万円となりました。
- 本業の収益を示すコア業務純益は、役務取引等利益が減少したものの、資金利益の増加や経費の減少等により、前期と同程度の1,060百万円となりました。
- 経常利益は、上記の要因のほか、貸倒引当金戻入益の減少等により、前期比969百万円減少して970百万円となりました。
- これらの結果、当期純利益は前期比950百万円減少して941百万円となりました。

(単位:百万円)

	2019年3月期		2018年3月期
		2018年3月期比	
業務粗利益	6,070	△ 41	6,111
(除く国債等債券損益)	6,191	△ 30	6,221
資金利益	5,760	75	5,685
役務取引等利益	463	△ 126	590
その他業務利益	△ 153	9	△ 163
うち国債等債券損益	△ 121	△ 11	△ 109
経費 (除く臨時処理分)	5,131	△ 27	5,159
うち人件費	2,682	△ 31	2,714
うち物件費	2,310	42	2,268
コア業務純益 (注1)	1,060	△ 2	1,062
一般貸倒引当金繰入額 ①	374	374	-
業務純益	564	△ 388	952
臨時損益	405	△ 581	986
うち株式関係損益	18	17	0
うち不良債権処理額 ②(注2)	△ 46	△ 51	4
うち貸倒引当金戻入益 ③(注2)	-	△ 674	674
うち償却債権取立益 ④	353	62	290
経常利益	970	△ 969	1,939
特別損益	△ 19	24	△ 43
税引前当期純利益	951	△ 944	1,895
法人税、住民税及び事業税	10	1	8
法人税等調整額	△ 0	4	△ 4
当期純利益	941	△ 950	1,891

(実質不良債権処理額) ①+②-③-④	△ 25	△ 935	△ 960
---------------------	------	-------	-------

(注) 1.コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益

2.2018年3月期は、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。

3.預金・貸出金等

- 貸出金は、事業性融資が増加したものの、住宅ローン等の個人向け融資と地公体向け融資が減少したこと等により、前期末比347百万円減少して228,335百万円となりました。
- 預金は、個人預金・法人預金がともに減少し、前期末比6,619百万円減少して491,820百万円となりました。
- 預り資産では、国債は前期末比394百万円減少して4,301百万円となりました。また、投資信託は前期末比186百万円減少して6,337百万円となり、保険は前期末比2,405百万円増加して27,530百万円となりました。

(1)預金・貸出金（末残）

(単位:百万円)

	2019年3月末		2018年3月末
		2018年3月末比	
貸出金	228,335	△ 347	228,683
うち消費者ローン	68,049	△ 2,336	70,385
うち住宅ローン	57,806	△ 2,324	60,130
預金	491,820	△ 6,619	498,439
うち個人預金	385,098	△ 1,014	386,113
うち法人預金	106,721	△ 5,604	112,326

(2)預り資産（末残）

(単位:百万円)

	2019年3月末		2018年3月末
		2018年3月末比	
国債	4,301	△ 394	4,696
投資信託	6,337	△ 186	6,524
保険	27,530	2,405	25,125

4.有価証券の評価損益

- 有価証券の評価損益は、前期末比1,322百万円増加して、3,924百万円の評価益となりました。

評価損益

(単位:百万円)

	2019年3月末		2018年3月末
		2018年3月末比	
満期保有目的	2,708	△ 299	3,007
その他有価証券	1,216	1,621	△ 405
株式	95	△ 7	103
債券	843	757	85
その他	277	871	△ 594
合計	3,924	1,322	2,602
株式	95	△ 7	103
債券	3,477	472	3,005
その他	351	857	△ 506

5.開示不良債権

- 金融再生法開示債権は、前期末比1,879百万円減少して29,740百万円となりました。
また、総与信に占める割合は、前期末比0.77ポイント低下して12.90%となりました。
○ 保全率は、前期末比0.26ポイント低下して83.31%となりました。

(1) 金融再生法開示債権

(単位:百万円)

		2019年3月末		2018年3月末
			2018年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		4,537	△ 529	5,066
危険債権		25,140	△ 1,058	26,199
要管理債権		62	△ 291	353
金融再生法開示債権	a	29,740	△ 1,879	31,619
総与信残高	b	230,401	△ 907	231,308
総与信残高比合計	a/b	12.90%	△0.77%	13.67%

(2) 金融再生法開示債権の保全状況

(単位:百万円)

		2019年3月末		2018年3月末
			2018年3月末比	
金融再生法開示債権	a	29,740	△ 1,879	31,619
保全額	b	24,778	△ 1,646	26,425
貸倒引当金		10,195	△ 320	10,515
担保・保証		14,583	△ 1,326	15,909
保全率	b/a	83.31%	△0.26%	83.57%

(注) 貸倒引当金は個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。

6.自己資本比率(国内基準)

- リスクアセットは前期末比3,748百万円増加して227,257百万円となりました。一方、自己資本の額は、昨年7月末に優先出資消却を2,000百万円実施したこと等により前期末比1,191百万円減少して21,649百万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末比0.69ポイント低下して9.52%となりました。

2019年3月期の開示内容(国内基準)

(単位:百万円)

		2019年3月末		2018年3月末
			2018年3月末比	
自己資本の額	a	21,649	△ 1,191	22,840
リスクアセット	b	227,257	3,748	223,509
自己資本比率	a/b	9.52%	△0.69%	10.21%

7.2020年3月期業績予想

- 経常収益は、7,000百万円を見込んでおります。
- コア業務純益は、880百万円を見込んでおります。
- 経常利益は、960百万円を見込んでおります。
- これらの結果、当期純利益は900百万円を見込んでおります。

通期(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位:百万円)

	2020年3月期		2019年3月期
		2019年3月期比	
経常収益	7,000	△ 402	7,402
コア業務純益	880	△ 180	1,060
経常利益	960	△ 10	970
当期純利益	900	△ 41	941

2019年3月期 連結決算の概況

2019年6月3日

信用金庫名 金沢信用金庫（理事長 忠田 秀敏）
 本店所在地 金沢市南町1番1号
 問合わせ先 責任者役職名 総合企画部長
 氏 名 津田 一志 TEL (076) 231-0147

1. 2019年3月期の連結業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績

（注）記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円 (%)	百万円 (%)	百万円 (%)
2019年3月期	7,701 (△9.8)	999 (△49.1)	955 (△49.7)
2018年3月期	8,540 (△6.9)	1,964 (△9.0)	1,903 (△11.1)

（注）経常収益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率
 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	連結自己資本比率
	百万円 (%)	百万円 (%)	%
2019年3月期	522,572 (△1.2)	25,821 (0.1)	9.55
2018年3月期	529,299 (0.9)	25,789 (5.5)	10.23

（注）1. 総資産、純資産におけるパーセント表示は、対前期増減率
 2. 連結自己資本比率（国内基準）は、信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するために金融庁長官が定める基準に基づき算出しております。

(3) 連結範囲

子会社 2社 ・ きんしん総合サービス株式会社
 ・ 株式会社ソフトバンク金沢
 持分法適用の関連法人等 1社 ・ 株式会社信金西日本ソリューションセンター

2. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円 (%)	百万円 (%)	百万円 (%)
2020年3月期	7,300 (△5.2)	990 (△0.9)	910 (△4.7)

（注）経常収益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率